

## 10月は詩人・野田宇太郎の誕生日

小郡市出身の詩人・野田宇太郎は、明治42年10月28日、三井郡立石村大字松崎(現在の小郡市松崎)に生まれました。市は、毎年10月に、野田の生家があった松崎桜馬場の「水鳥」詩碑前で「野田宇太郎生誕祭」を開催しています。野田に捧げる詩の朗読や、野田が作詞した学校の校歌の合唱など、言葉を楽しむ秋の恒例行事です。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、野田宇太郎生誕祭は中止しますが、関連した2つの催しを企画しています。



▲第30回野田宇太郎生誕祭のようす

## 野田宇太郎生誕祭のあゆみ展

昨年、第30回を迎えた「野田宇太郎生誕祭」のあゆみを紹介する企画展示です。「水鳥」詩碑の建立から第1回生誕祭までのあゆみや、献詩の優秀作品の展示などを行います。また、文化財課による油屋の変遷についての展示コーナーもあります。

●会期 10月3日(土)～24日(土)

※期間中、日・月曜は休館

●時間 午前9時～午後4時30分

●会場 旧松崎旅籠油屋(小郡市松崎786-1)

## 野田宇太郎文学資料館企画展「碑に込めた思い—野田宇太郎と文学碑—」

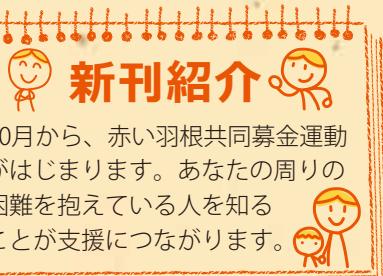
野田宇太郎は、近現代の文学者たちに敬意を払い、その功績を広めることに努めました。この企画展では、その顕彰活動のひとつである文学碑建設をテーマに、野田の取組を紹介します。

●会期 11月26日(木)～令和3年2月28日(日)

※会期中、一部展示替えを予定しています

●時間 午前10時～午後6時

●会場 野田宇太郎文学資料館展示室(市立図書館内)

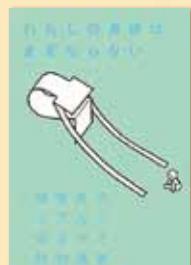


### 「脳コワ」さん支援ガイド

鈴木大介／著 医学書院



「脳コワさん」とは、高次脳機能障害や精神疾患、認知症など、脳に何らかのトラブルを抱えた人を定義した言葉です。障がいにより、どんなことに困っているのか、どんな支援があるのかを、当事者でもある著者が解説します。



### 会話がしんどい人のための 話し方・聞き方の教科書

吉田尚記／著 アスコム



この本は、人と話すことが苦手、可能なら会話から逃げたい、そんなコミュニケーション障害の悩みをもつ人のためのアドバイス集です。当事者はもちろん、コミュニケーションをうまくとれない人の支援のヒントになる1冊です。

### わたしの身体はままならない (障害者のリアルに迫るゼミ)特別講義

石田祐貴ほか／著 河出書房新社

性同一性障害、薬物依存、知的障がい児の親など、さまざまな悩みを持つ人が自分自身を語ります。同じ景色でも見る人によって見え方が違うことに、あらためて気付かされます。

### 苦しい時は電話して

坂口恭平／著 講談社



死にたくなるのは、懸命に生きているから——自らも躁鬱病と戦う著者が、自分の携帯電話で開設した「いのっちの電話」。自殺者ゼロをめざして、人の声に耳

を傾けて考えたこととは。